



あすなろ

教育目標

自分の考えをもち みんなとともに 向上しようとする子
○かんがえる子 ○あたたかい子 ○きたえる子

学校だより 令和8年9月18日(金)

川上保小中学校 竣工から60年の節目

昭和41年11月に恵那郡川上村立保小中学校が竣工し、今年で60年目となります。上垣外さんの作文(下文)からは、四階建ての立派な校舎に通うことができる感動や興奮、最新設備に胸を踊らせる様子が本当によく伝わります。川上村民全員が誇りうる校舎の完成だったと思います。

わたしの学校 恵那郡川上小 上垣外悦代さん (昭和43年2月3日朝日新聞)

わたしたちの学校は長野県との県境にあり、四方を緑の山に囲まれた、人口千百人ほどの小さな村の中心部にあります。鉄筋コンクリート四階建てのりっぱな校舎で、はじめて見る人は「ウワーツ、すごい学校だな」と、声をあげます。表面ばかりでなく、なかみの設備も整っています。

この学校は四十一年十一月に落成し、十二月に移転しました。新校舎が建つとき、運動場がこわされ、毎日来る生コン車を教室から見て、何台来ているか数えるのが楽しみになっていました。でも、いまはちがいます。すき間から冷たい風が吹きこむ古い校舎にくらべ、朝登校して「カチ、カチ、キーン」というスチームの音が聞こえると、それだけで体が暖まってきます。

また、川上保小中学校には、昭和35年頃制作され60年以上歌い継がれている「運動会の歌」があります。歌詞の中には、「集う健児三百の意気天をつく運動会」とあり、総勢300人ほどの園児児童生徒が意気天を衝く勢いだったことは想像にかたくはありません。

運動会の歌

作詞……小縣和子
作曲……小畑美保

一、秋空澄て風涼し
新グラウンドに朝日映ゆ
白いコースもあざやかに
踊る心を胸にして
集う健児三百の
意気天をつく運動会

二、夕日は落ちぬ鹿峰に
新グラウンドに風涼し
遊技競技の熱演に
喜び満ちぬ顔と顔
集う健児三百の
意気天をつく運動会

※新グラウンド：現在校舎が建っている場所



【写真】

「運動会の歌」の作曲者、小畑美保さん(元川上小教諭) 令和5年9月来校時

川上小最後の運動会！地域の皆様の参加をお待ちしています

9月26日(土)運動会を開催します。今年のスローガン『みんなが主役～きのうの自分をこえていけ』には、教育目標である「みんなとともに向上しようとする子」の姿が重ねられています。仲間と協力し合いながら(みんなが主役)、自分で設定した目標をクリアして高みを目指す(きのうの自分をこえていけ)そんな成長の姿を目指し、子供たちはダンスパフォーマンスや競技の練習に汗を流しています。

さらに今年は地域の方々にも参加していただきます。地域種目の玉入れや綱引きなど、子供たちと一緒に盛り上げてほしいと思います。また、川上竜神バンドの生演奏、いきいき市場の五平餅やかき氷などの販売もあります。地域や保護者の皆様と共にこれまでの長い歴史を振り返りながら思い出に残る大運動会にしたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。